

かんたん写真プリント色合わせツール Quick Color Matchを活用しよう

ここではキヤノンのプリンターを例にとって手順を紹介しします。手順はとてもシンプル。簡単にイメージした通りのプリントを手に入れることができます。

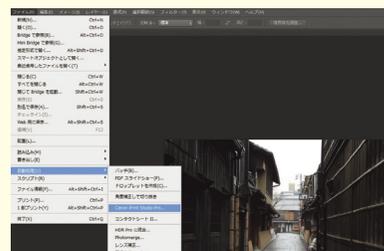
1 まずはQuick Color Matchとプリントを補助するキヤノンのプラグインソフト「Print Studio Pro」をそれぞれのサイトからダウンロード、インストールします。



2 Quick Color Matchを立ち上げ、使用するプリンター、用紙を設定して、「ここに画像をドロップ」へプリントしたい画像をドロップします。



3 Photoshopが自動起動し、プリントの色味を再現した画面が表示されます。プリントされる正しい色味を見ながら、レタッチできます。レタッチが完了したら、続いてPrint Studio Proを使ってプリントしていきます。



4 Photoshopの【ファイル】→【自動処理】からPrint Studio Proを立ち上げます。カラー設定は、Quick Color Matchから自動で設定されているので、ここでの操作は、用紙のサイズとレイアウトの設定だけ。後は印刷ボタンを押せばOKです。

5 作業はこれだけ。後は印刷を待つだけです。



6 印刷後は、プリント結果を5000Kの環境光の下で確認。後でレタッチを加えたいときにも、モニターとプリントの色が一致していれば、効率的に行えます。

さっそく
試してみよう!

【ダウンロードはこちらから】

● Quick Color Match
<http://www.eizo.co.jp/i/download/qcm/>

シンプルな
インターフェース
モニターを用意し、環境光を整えていざプリント！その際におすすめしたいのが、Color Edge用の写真プリント色合わせソフトウェア「Quick Color Match」です。EIZOから無償で提供

されるこのソフトウェアを使えば、モニター表示とプリント結果が合わないという悩みを簡単に解決してくれます。さらに、Adobe Photoshop/CC/CS6を使っていれば、Quick Color Matchへ画像データをドロップするだけでPhotoshopが自動起動、カラー設定も自

Quick Color Matchを使用するためには対応した機材が必要です。詳細はこちらでご確認ください。

<http://www.eizo.co.jp/products/ce/qcm/>

動で行うので、レタッチからプリントまでの一連の作業を効率的に行えます。

カンタン、スムーズ! 楽しくできる ワンランク上のプリントづくり



日立労友会写真同好会

プリントは作品づくりにおいて大きなウエイトを占める大切な作業です。その一方で「モニターとプリントの色が合わない」「プリンターを選ぶときのルールはあるの?」など、多くの悩みを抱えていらっしゃる方が多いのも事実。そこで、今回は、日立市の日立労友会写真同好会と若葉熟写会のみなさんにもご協力いただき、効率的なプリントづくりの方法を紹介します。



若葉熟写会

写真編集作業に適したモニターを用意しよう



【おすすめはこのモデル】
24.1型カラーマネージメント
液晶モニター

EIZO
カラーエッジ
ColorEdge CS2420

価格: オープン

【主な特徴】

- Adobe RGB色域を99%カバーし、Adobe RGBで現像・撮影したデータの色を正しく表示
- 画面の部分ごとに明るさや色味のムラなく、画面の隅々まで均一表示
- 1台ごとに調整された滑らかな階調表現



ノートパソコンをお使いの方でも、ColorEdgeを接続すれば、写真編集に適した環境を作れます。写真はCS2420を接続して画像を表示しているところ。左のノートパソコンの画面は表示に明るさや色味のムラがあることがわかります。

正確な色表示ができる
モニターを選ぼう
ワンランク上のプリントを手に入れるためにまず用意したいのが写真の編集作業に適したモニターです。一口にモニターと言ってもその種類や性能はさまざま。家電量販店にも多くのモニターが並んでいます。ところが、家電量販店で並ぶモニターを見ても分かるように、そもそも多くは写真編集向けにつくられてはいないため、正確な色表示どころかモニターごとに色異なります。これでは、い

環境光も大切



Z-80pro-EIZO

プリントはその場の光によって見え方が変わります。効率よく作業を進めるためには、プリントは色評価の基準となる5000Kの環境光下で見るのが理想です。EIZOでは、簡単にその環境を構築できるLEDスタンドZ-80pro-EIZOを用意しています。

くらレタッチ技術を身につけたとしても、モニター表示とプリント結果が合致せず、何度もやり直すことになってしまいます。そこでおすすめなのが、EIZOのカラーマネージメントモニター「ColorEdge」シリーズです。一般的なモニターでは難しい鮮やかな青空の水色、新緑の緑色の再現や、画面の表示均一性、滑らかな階調表現などの性能を備え、A3実寸が収まる24.1型「CS2420」など、写真編集に適したモニターがラインナップされています。

どんどんプリントしよう



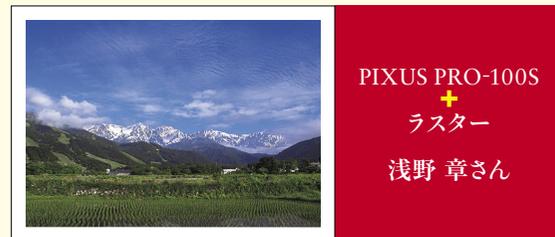
『モニター表示とプリント結果がしっかりマッチ』
日立労友会写真同好会



PIXUS PRO-100S
+
プラチナグレード
松塚吉彦さん



PIXUS PRO-100S
+
ラスター
皆川和好さん



PIXUS PRO-100S
+
ラスター
浅野 章さん



PIXUS PRO-100S
+
ラスター
巻島成好さん

「まず、モニター表示とプリント結果がぴったり一致したのは驚きました。Quick Color MatchとPrint Studio Proの操作もシンプルなので迷うことはありません。プリントは風景を撮っているメンバーが多いので、PRO-100Sを使用しましたが、細かなディテールまでしっかり表現してくれました。光沢系のプラチナグレードはもちろんですが、ラスターは仕上がりに高級感があり、これからの作品づくりの選択肢が増えました」

最後に今回、実際に一連のプロセスを体験いただいた日立労友会と若葉熱写会のみなさんの作品を紹介します。最適な環境を整えて、気に入った写真はどんどんプリントしましょう！

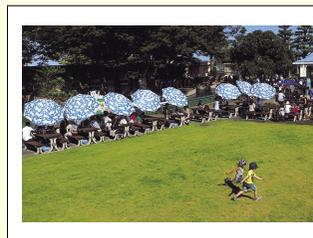
『PRO-10Sの表現力に驚き』若葉熱写会



PIXUS PRO-10S
+
プラチナグレード
海老原 宏さん



PIXUS PRO-10S
+
プラチナグレード
荒川一男さん



PIXUS PRO-10S
+
ラスター
鈴木賢嗣さん



PIXUS PRO-10S
+
プラチナグレード
木内俊一郎さん



PIXUS PRO-10S
+
プラチナグレード
堤 健蔵さん

「普段使用しているモニターでは、少し角度が変わるだけで見え方が変わるなど、作業するのに苦労していました。今回、ColorEdge CS2420を使って特に感じたのはムラのない表示。とても見やすくストレスなく作業を進めることができました。クロマオプティマイザーを採用しているPRO-10Sはこれまでの顔料プリンターのイメージとは違う光沢感のある仕上がりで、幅広い作品づくりに使えそうです」

イメージに合ったプリンターと用紙で 作品のレベルをアップさせよう

プリンターと用紙の組合せによって作品イメージは大きく左右されます。まずはプリンター。キヤノンでは、写真愛好家向けに染料インクのPIXUS PRO-100Sと顔料インクのPIXUS PRO-10Sが用意されています。それぞれの特徴を理解して、自分の作品に合った一台を選ぶことが大切です。同じプリンターでも光沢感のある用紙プラチナグレードでプリントするのか、しっとりとした雰囲気のあるラスターでプリントするのかで、印象は変わります。以前は、染料プリンターは光沢系、顔料プリンターにはマット系と言われていましたが、最近ではプリンター、用紙ともに大きく性能が向上し、さまざま組合せが楽しめるようになりました。これまでの「セオリー」にとらわれないプリントづくりにチャレンジしてみましよう！

さまざま組合せを
楽しもう

組合せによる仕上がりのイメージ

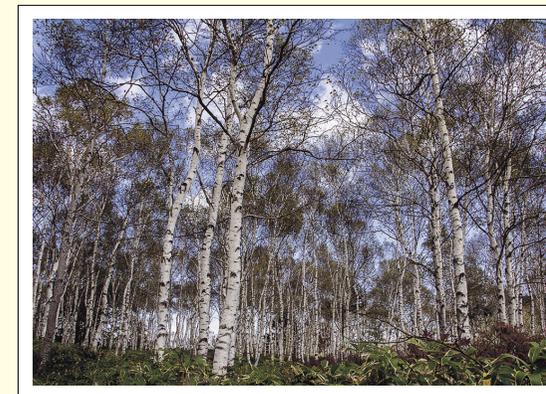
PIXUS PRO-100S

【主な特徴】

- 発色性・光沢感に優れた「8色インク」
- 従来モデルに比べて印刷スピードが大幅に向上
- 写真の美しさを長持ちさせる「ChromaLife100+」でアルバム保存200年以上を実現



五十嵐紀彦さん(日立労友会写真同好会)



PIXUS PRO-100S+光沢 プロ[プラチナグレード]

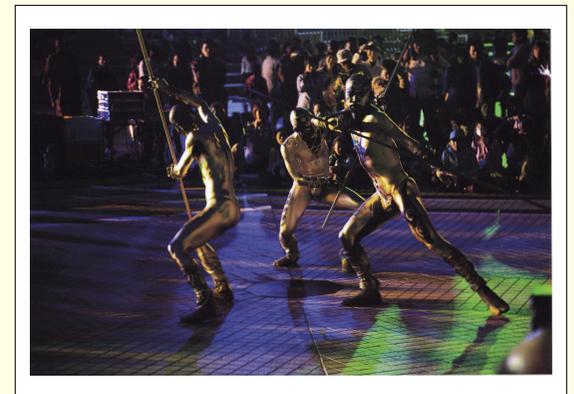
PIXUS PRO-10S

【主な特徴】

- 色再現領域を大幅に拡大した10色・顔料インク
- 光沢の均一性を高めて表面を滑らかに仕上げ、暗部を引き締めるクロマオプティマイザーの採用



村田 守さん(若葉熱写会)



PIXUS PRO-10S+微粒面光沢 ラスター

鮮やか

PIXUS PRO-100S

+ 光沢 プロ[プラチナグレード]

染料プリンターの発色の良さと光沢紙ならではの抜けの良さを楽しめるこの組合せは、明るいイメージや透明感のあるイメージに仕上げたいときに最適。



しっとり

PIXUS PRO-10S

+ 微粒面光沢 ラスター

顔料プリンターならではの重厚感のある仕上がりとしっとりしたラスターとの組合せは、落ち着いたイメージに仕上げたいときに最適。

